

こども園ひがしどおりクリスマス会 ～東通村商工会青年部～

クリスマススイヴの令和2年12月24日(木)、こども園ひがしどおりのクリスマス会が開催されました。

ボール運びリレーやフルーツバスケットなどを楽しんだ後、感染対策のマスクと手袋をしたサンタクロースが登場。歓声の中迎えられ、入場しました。

園児から『サンタさんはクリスマスじゃない時は何をしているの?』『今日の夜も来てくれますか?』などの可愛らしい質問に優しく答え、その後、一人一人にプレゼントの贈呈と写真撮影を行いました。

このサンタクロースイベントは、東通村商工会青年部の事業として部員が行っており、今年で4回目となります。こども園ひがしどおりには、絵本の贈呈を行いました。



サンタクロースと記念撮影



クリスマス会の様子

「寒立菜(寒締めホウレンソウ)」で地産地消の学校給食を実施

東通村が冬の地場野菜としてブランド化を進めている「寒立菜」が、1月14日・15日の両日、地産地消の給食を提供する東通小・中学校の学校給食に登場しました。

寒立菜は、農作物を冬の寒気にあえてさらす「寒締め」という処理を施したホウレンソウで、夏場のホウレンソウに比べて糖度やビタミンCなどが増加するのが特徴です。寒さに耐えながら生育する姿から、尻屋崎で放牧される寒立馬にあやかっ「寒立菜」と名付けられました。寒立菜の給食は全校児童・生徒に提供されましたが、そのうち、授業で村の食を学ぶ小学校4年生の教室には、実際に寒立菜を生産する農家が訪問し、栽培方法や特徴を直接PRしました。



4年2組に寒立菜をPRする東通村畑作生産振興会の山崎孝悦会長。4年1組には同じく生産農家の濱田裕子さんが訪問し、生産者と児童が地産地消の給食でつながりました。

東通村漁業連合研究会通常総会開催

1月16日(土)、村庁舎において東通村漁業連合研究会(二本柳亮会長、小田野沢)通常総会が開催されました。

開会にあたり、漁業研究活動にご尽力された5名の方に二本柳会長から表彰状及び記念品が贈呈されました。

その後、二本柳会長の挨拶の後、議事に移り、令和2年度事業報告及び収支決算、令和3年度事業計画と収支予算が承認され、また、任期満了による役員改選で岩屋漁業研究会の相馬忍氏が新会長として承認されました。

総会最後には、青森県営浅虫水族館 飼育展示部 魚類グループ 杉本匡氏より「水族館で感じる青森の海の魚種の変化」、同じく、青森県営浅虫水族館 飼育展示部 海獣グループ 桃井綾子氏より「青森で見られる海獣類」と題して講演がありました。

東通村漁業連合研究会表彰状授与者		
所属	氏名	備考
野牛漁業研究会	杉本 現 貴	会員表彰
岩屋漁業研究会	相馬 大 希	会員表彰
尻屋漁業研究会	駒谷 祐 輔	会員表彰
小田野沢漁業研究会	二本柳 松三郎	会員表彰
白糖漁業研究会	西山 力	会員表彰



新会長 相馬忍氏 (写真中央)



講演の様子